

●資料2 各グループの意見まとめ

まず、災害について不安なことについて話し合い、そこで出た意見について、時間の許す限り改善案や解決策を話し合いました。

班名 地区名 (リーダー 委員)	テーマ		意見
A班 辻堂 (山田)	災害について不安なこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップが広域すぎる。避難の順番が明確ではない。</li> <li>・防災ふじさわの放送が聞こえない、聞き取れない。</li> <li>・地震による火災が心配。液状化もこわい。</li> </ul> </li> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災、河川氾濫、土砂災害の避難場所は？地震はわかる</li> <li>・地震、火災時の要支援者の避難</li> <li>・湘南工科大学が、本当に避難場所として利用可になるか</li> <li>・湘南工科大など、南へ向かうのは不安だが？</li> <li>・近所に高台がないので、津波時どこに逃げればよいか。</li> <li>・歩行困難の方は、避難場所までたどり着けない。</li> </ul> </li> <li>●避難生活               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフラインはどうなっているか。避難場所へ移るタイミング</li> </ul> </li> </ul>
	改善案・解決策など	自身や家族の身の安全を守る行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ふじさわ</li> <li>→もっと各種災害の情報伝達に活用してほしい。受信状態チェック、機器更新してほしい。</li> <li>・大規模火災はこれまで起こっていないので、運用を再確認すべき。</li> <li>・火災時の消火器は足りているか。</li> </ul> </li> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップを町内で作る。避難の順番を整理</li> <li>→避難の順番を明確にする。町内会ごとにまとめたらいいかも</li> <li>①発災直後</li> <li>②一時避難 これ以降で共助</li> <li>③避難場所 生活の場だから共助だろう</li> <li>・津波の際は南に行くってはいけない。高い場所、海から離れた場所へ避難</li> <li>・まず広い場所へ、火災の場合は神台公園やテラスモール</li> <li>・共助として、自治会町内会のまとまり</li> </ul> </li> </ul>
B班 辻堂 (和田)	災害について不安なこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・家屋が倒壊しないか</li> <li>・地震による液状化、火事もこわい</li> </ul> </li> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・停電時にタワマンの人はどう対処するのか</li> <li>・近所の高齢者がどうすればよいか把握していない。</li> <li>・ネコを飼っているのどうするか。</li> </ul> </li> <li>●安否確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、子どもたちと離れているので心配、家族の安否確認をどのようにするのか</li> <li>・周りに家族や知り合いがおらず、一人だった時</li> </ul> </li> <li>●避難場所               <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食品の配給、トイレの処理</li> <li>・自宅避難の場合、支援物資が届くのか</li> <li>・避難場所がわからない。</li> </ul> </li> </ul>
	改善案・解決策など	自身や家族の身の安全を守る行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全であれば家にとどまる。</li> <li>・家族で確認→訓練もできれば尚よい。</li> <li>・自治会でも決めて、周知する必要がある。</li> <li>・決まっている、決まっていないことのカテゴリ分けを明確にする。</li> <li>・練習しておく（避難訓練）</li> <li>・避難ルート</li> <li>・避難先でペット避難できるか確認しておく</li> <li>・地域ごとに避難ルートを確認し、共有する。</li> <li>・安全確保できているときは、なるべく家にとどまる。</li> <li>・備蓄（食料・水の確保）</li> <li>・家族の集合場所を話し合っておく。</li> </ul> </li> </ul>
		地域や周囲の人たちとの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者の把握</li> <li>・自治会などで、どこにみんなで避難するか周知しておく</li> <li>・自治会町内会で、避難の方法を示してあげる。</li> <li>・近所との交流を深めておく。</li> <li>・一次避難→公園、耐久性の高い家</li> <li>・二次避難→指定学校、庁舎</li> </ul>

●資料2 各グループの意見まとめ

まず、災害について不安なことについて話し合い、そこで出た意見について、時間の許す限り改善案や解決策を話し合いました。

班名 地区名 (リーダー 委員)	テーマ		意見
C班 辻堂 (吉田)	災害について不安なこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型の台風などで窓ガラスの破損が心配、家が古いので潰れないか心配</li> <li>・自宅、自身の耐久性、家が崩壊しないか</li> <li>・液状化による家屋の傾き等で住めなくなるのでは</li> <li>・行政はどこまでできるか、本音を伝える知らせ方が足りない。(建前では実際の時に困る)</li> </ul> </li> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・95歳介護1の母の面倒をみないといけない。共助までできるか不安。</li> <li>・複数の方から救助を求められたとき、どう対応したらよいか。</li> <li>・安否確認は、自治会に入っていない人はやるのか</li> </ul> </li> <li>●避難生活               <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレが心配、水、食料が足りるか、SNSのデマ情報</li> <li>・ライフライン(インフラ)水、電気が止まってしまったら</li> <li>・避難生活で食料や水をもらえるのか、1食がおにぎり1つだと困る</li> <li>・避難所に人が入りきるのか。</li> </ul> </li> </ul>
	改善案・解決策など	自身や家族の身の安全を守る行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難生活(改善案が出ないので、更に不安なことはないか意見をいただいた。)</li> <li>・避難所の備蓄の様子がわからないのが不安の原因</li> <li>・避難所の定員等がわからないので、避難所に入れるかどうか心配。</li> <li>・トイレ、水についての正しい情報を周知(3日分で足りるか、藤沢市に給水車はあるか、来てくれるか。)ペットも一緒に避難できるか心配。</li> <li>・桜花園は湘南工科が避難所になっているが現実的なのか心配。</li> <li>・道路の液状化により湘南工科まで行かれるか心配。</li> <li>・防災用品の購入補助金があれば良いな。</li> <li>・個人の備蓄が足りるのか。3日と言われているが心配。</li> </ul>
	改善案・解決策など	地域や周囲の人たちとの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から地域の人、近隣の方との交流を促す方法を勉強させて欲しい。(知らない人だと、手を差し伸べることができない)</li> <li>・高齢なのでどこまで支援できるか。</li> <li>・自治会の救助用具を使った救助訓練が必要ではないか。</li> <li>・助けるタイミング→落ち着いてから</li> <li>・どこに助けを求める人がいるかわからない。</li> <li>・普段からの交流が大切</li> <li>・共助、公助のために安否確認が大切</li> </ul> </li> </ul>
D班 辻堂元町 (雲居)	災害について不安なこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居なので家がどうなるのか心配、家の倒壊</li> <li>・道が狭くて大型車両が通れない。大型消防車、救助車両</li> </ul> </li> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波の来る時間帯。昼間か夜間かわからない</li> <li>・災害の規模、酒類、状況により、適切な行動ができるか(子供を持つ親として)</li> <li>・どの高さまで来るのか</li> <li>・本当に避難すべきか、判断が難しい犬もいる。場所も、小学校などさらに海に近くなる。</li> <li>・関東大震災では自宅現地家屋は全壊、津波は浜見山まで来たとか。現在の自宅は同じ場所でも盛土をしているので津波の心配はあまりしていない。とりあえずペットが心配</li> </ul> </li> <li>●避難生活               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットがおり、在宅避難を考えている。</li> </ul> </li> <li>●津波               <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の家族がいる。98の母をどう助けるか。</li> <li>・隣近所でない要支援者が心配</li> </ul> </li> </ul>
	改善案・解決策など	自身や家族の身の安全を守る行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波については、震源情報により判断。(海なら高台へ、陸なら津波心配なし。)</li> <li>・まず自分の命。南海トラフ(20分)声掛け、逃げる。</li> <li>・ペットはエリア分け、テント持参、車避難。</li> <li>・業者と「事前に」連携</li> </ul> </li> </ul>
	改善案・解決策など	地域や周囲の人たちとの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者に対する、個別避難計画(おとなりさん)の推進</li> <li>・隣近所の人つながり 日頃の関係</li> <li>・向こう3軒両隣、普段のコミュニケーションが大事</li> <li>・元町(北町)あいさつ通り、回覧板は手渡し</li> </ul> </li> </ul>

●資料2 各グループの意見まとめ

まず、災害について不安なことについて話し合い、そこで出た意見について、時間の許す限り改善案や解決策を話し合いました。

班名 地区名 (リーダー 委員)	テーマ		意見
E班 辻堂 太平台 (高山)	災害について不安なこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策</li> <li>・災害対策 家が壊れないか、共助の考え方の共有、住民の皆さんの防災への関心が低い</li> <li>●避難</li> <li>・避難をあきらめてしまう人がいる。</li> <li>●津波</li> <li>・地震津波が心配</li> <li>・津波 自宅が崩壊しないか心配</li> <li>●安否確認</li> <li>・家族との連絡、遠方の家族の安否、災害時連絡がどのくらいとれるのか</li> <li>●避難生活</li> <li>地震の時トイレが使えなくなる。</li> </ul>
	改善案・解決策など	自身や家族の身の安全を守る行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安否確認</li> <li>・災害時の連絡について</li> <li>伝言ダイヤルを家族で共有する。</li> <li>①知っているだけでなく、試してみる</li> <li>②町内会で伝言ダイヤルの仕組みについて取り組んでみる</li> <li>③声を聞くと、親も子ども安心できる</li> <li>・公衆電話の活用</li> <li>①自宅の周りの公衆電話の場所を知っておく</li> <li>②公共施設は優先電話であることが多い</li> </ul>
		地域や周囲の人たちとの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難</li> <li>・あきらめてしまう人 高齢者、障がいのある人、引きこもりの人など</li> <li>・避難してもらい、その後の支援をどうするか</li> <li>・イベントなどで顔見知りになってもらう、イベントに参加しやすい工夫を考えることも大事、近所づきあいが大事</li> <li>・町内会での取組、防災の意識の裾野を広げる</li> <li>・ペットを通じたつながりの強化</li> <li>・役員が輪番だとなかなか定着しない。一方で経験者が増えるというメリットもある。</li> <li>・個人情報の壁が立ちふさがることもあるが、結局人と人とのつながりだな！</li> <li>・まちあるきで周囲の環境を知る</li> </ul>
F班 辻堂 東海岸 (小川)	災害について不安なこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策</li> <li>・自分の命が優先の中、他人を助けられるか。</li> <li>・いざという時、町内会役員としての役割を果たせるか。</li> <li>●避難</li> <li>・津波の避難。歩いて避難先公園までいけないのではという不安</li> <li>・地震の後に火事が起きたら避難できるか</li> <li>・避難場所、避難所が少ない。(限られていて、人口密度が高い)、防犯、盗難が心配</li> <li>●津波</li> <li>・命が守れるか</li> <li>●安否確認</li> <li>・家族の安否確認ができるか</li> <li>●避難生活</li> <li>・災害発生時の犯罪対策、防止策</li> <li>・備蓄食料は十分なのか。取り合いにならないか。</li> </ul>
	改善案・解決策など	自身や家族の身の安全を守る行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難</li> <li>まず自分と家族が安全に。3日ほどの食糧を持つ。</li> <li>・体力をつける</li> <li>・情報を収集、知識(携帯で伝言ダイヤル、位置を知る等)</li> <li>家族との連絡が可能な状況を安否確認を使う、学校が親に安否を伝えてほしい</li> <li>・安全な家。避難用品の準備、避難所(ペット)</li> <li>・避難訓練は必要だが参加少ない→まとまった人数の参加例として、スポーツクラブの方と共にやる事はできないか</li> </ul>
		地域や周囲の人たちとの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難</li> <li>・地域の子どもを知る機会がほしい</li> <li>・地域とのかかわり、町内会の人達手伝いたいと思うが、寝たきりとか不自由な方々を知ることが大切</li> <li>・個人情報の問題がある</li> </ul>

●資料2 各グループの意見まとめ

まず、災害について不安なことについて話し合い、そこで出た意見について、時間の許す限り改善案や解決策を話し合いました。

班名 地区名 (リーダー 委員)	テーマ		意見
G班 辻堂 西海岸 (大沼)	災害について不安なこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人住まいのため、情報を得るには？</li> </ul> </li> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波の避難場所がわからない。詳しく知りたい。</li> <li>・避難所への移動経路が安全か</li> <li>・避難訓練があっても参加しない人がいる。</li> <li>・ペットを連れて避難所にいけるか</li> <li>・自宅よりも避難場所が海に近いなら反対方向に逃げる。</li> <li>・団地では、屋上に上がるハッチが錆びていて開かなかった。</li> </ul> </li> <li>●安否確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに安全に避難したことを知らせられるか。</li> <li>・家族との連絡方法は？</li> </ul> </li> <li>●避難生活               <ul style="list-style-type: none"> <li>避難先で雑魚寝というのは関東大震災から変わっていない。</li> </ul> </li> </ul>
	改善案・解決策など	自身や家族の身の安全を守る行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波非難の場合、海から離れる高いところに逃げるなど、より安全な場所へ逃げるのが大事</li> <li>・個人個人が具体的避難方法経路を確認しておくことが大事</li> <li>・個人個人が別々の場所に逃げることもあるので、家族の間で連絡方法を決めておくことが大事</li> </ul> </li> </ul>
		地域や周囲の人たちとの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者アンケートのように、障がい者や一人暮らしの高齢者は避難のサポートを必要としている人がいるが、一般の人はわからない。</li> <li>・避難の支援が必要ということを周囲の人に伝えることができるような人間関係を作ることが大事</li> </ul> </li> </ul>